

資料3 第4回セミナー振り返りシート

運営についてのご意見等	回答
今日までの資料及び講演の内容はどうやって手に入れるのか。	愛知県のホームページから「とよがわ流域県民セミナー」のバナーをクリックすると、セミナーのホームページに入ることが出来ます。このホームページから各講座の資料、講演内容が入手出来ます。
建設の可否や必要性の議論が多いが、水没住民として、補償や生活再建、ダム後の故郷作りなど、犠牲者にも目を向けた議論をしていただきたい。先例地との比較もして不利益にならないようにして。	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。
講師の先生たちは大変とは思いますが、もっと多岐に亘って回数を増やして欲しいと思います。	期間的に限界がありますが、関連する分野を取り扱う予定としております。
第1回から連続して拝聴、勉強させていただいていますが、かなり生々しい議論になってきたようで、いろんな問題が率直に議論されていて、真剣に考えないといけない事がよく分かってまいりました。 頭から反対の立場の人の意見が多いようですが、本当に水が足りないという立場（ダムを造ってでも水が欲しい）の人の意見というのはないのでしょうか。 また、三河湾の漁業者の立場からの実態からダムを造った時と中止した時の想定される問題点の提起も欲しいように思いました。	今後のセミナーで、水需要については取り上げる予定としております。
息抜きのサイドイベントもあり、硬い話を柔らげていただいて良い運営になっています。	サイドイベントによって、県民が参加しやすいセミナーとなるように考えていきます。
過去にダムが造られた所のメリット、デメリット（箱物（建物）などダメージになっている）の講座	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。
原田司会者は中立的な立場で進行すべきである。	ご意見として伺います。
質疑において、コーディネーターの方が理解してなくて、質疑がかみ合っていないと感じました。 テーマに沿った意見が会場から直接出ているが、コーディネーターの方は、全然気にしていない。	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。
日本の先を行くアメリカのダム事情を聞く・見る機会はないでしょうか。本でも講師でも、映画・CDでも何か無いでしょうか。 すでにあるダムの功罪が分かる資料はないでしょうか。	
スタッフのみなさん、一生懸命やってくれており、感謝いたします。是非、設楽ダム中止する方向でお願いします。	当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。
司会の原田さんは、講師の発表内容をしっかり理解して発言して欲しい。もっと素直な気持ちで（先入観を持たずに）、理解に努めて欲しい。また、自分の感想（十分理解していないのにも拘わらず）など発言しない方が良い。公平性が担保されない。 伊藤講師に追越し過ぎた。軽薄である。建設事業債と臨財債の区分ができていない。	ご意見として伺います。
議論の中で、岩盤が強いのか弱いのかというのは、第1回「とよがわ流域の地域形成と地域像」藤田名誉教授の講座で、岩盤は強固だと学んだではないか。学んだのにまた「弱い」「不安だ」という発言を未だにするということは、全く学習効果が無い。やっても意味がないということではないか。 原田委員は、学習していない人の発言は制止すべきでは。皆で共有している時間が無駄である。時間を独占している人がいる。	ご意見として伺います。
原田さとみさんの運営について ① 本場にすべての質問をこなしてから会場に振ったのか。質問を書いて提出した人に失礼では。 ② 森先生が、建設公債は将来世代も含めて負担する方が公平で、特例赤字公債の方が問題なのだと言っているのに、設楽ダムの借金は不安だと繰り返し言ったのは不適切。臨財債と建設公債を最後まで分かっていない。理解力が不足している。コーディネーターとしてダメ。失格だ。	ご意見として伺います。
次回の名古屋開催では、託児が可能なウィル愛知をお願いします。 また、今回は、県内すべての市町村の広報に載っていませんでした。広報は広報課に協力をいただいたらいかがでしょうか。	託児についても、会場が可能な場合は検討しています。広報につきましては、より多くの県民に知って頂けるように、諸部門に協力をお願いしています。
音が大きすぎると思います。	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。
建設予定地の素晴らしさを県民に知らせる機会を作って欲しい。 また、中山間地をどうすれば良いかの議論をする場も欲しい。	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。
広く県民に情報を提供して、どのような結論を導くのか、目的が不明確である。	当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。
サイドイベントの三河万歳は、幸田町の出身者ですが聞いたこともなかった。いつ頃から復活したのか、いつどこで演じられるのか調べてみたい。	ご意見として伺います。
主催が県であっても、有識者検討、運営から第三者もしくはNPO、ファシリテーターなどを入れるべきである。 「利権者」＝当事者の議論（＝利用者負担の覚悟）を行うべき	ご意見として伺います。

資料3 第4回セミナー振り返りシート

運営についてのご意見等	回答
流水の正常な機能の維持、同容量（不特定容量）の問題について、セミナーを行って欲しい。	今後のセミナー開催の参考とさせていただきます。

講座内容についてのご感想・ご意見【森講師】	回答
<p>一般に県政は西高東低と言われるが、表をどのように説明するか。</p>	
<p>設楽ダム建設の県費と、及ぼす影響について理解が得られた。</p>	<p>ご理解いただき有難うございます。</p>
<p>財政の面から言えば、県はやろうと思えばできるということがよく分かった。</p>	<p>ご理解いただき有難うございます。</p>
<p>県財政の分析は興味深いものがありました。</p>	<p>ご理解いただき有難うございます。</p>
<p>説明に使われたデータは過去の資料によるもので、将来の変化予測が（高齢化、産業の変化）入っていないのでは。今現在なら問題ないことはよく分かりました。</p>	<p>将来の状況変化が県財政に与える影響は予測し難い面もあり、今回は現状を前提として分析しました。</p>
<p>「設楽ダム建設関連投資の実施は、愛知県の財政状況を著しく悪化させるものではない。」ことが、講師の説明でよく分かった。 豊川の治水安全度、利水安全度は極めて低いため、設楽ダムによる治水安全度、利水安全度の向上を図っていただきたい。 また、設楽ダム建設にあたっては、建設費、維持管理費を含めたトータルコストの縮減を図っていただきたい。</p>	<p>ご理解いただき有難うございます。</p>
<p>2011. 3. 11という日本の国の転換点があり、2010年のデータでは、ダム建設に対してそれほど影響がないということに、財政収支があまり理解できなかった。 リーマンショックではなく、日本の社会・経済については、2011年以降を考えなくてはいけないのではと思った。</p>	<p>2011年度以降に県の財政構造が大きく変わったのか、分析してみないとわかりませんが、愛知県に関しては激変はなかったのではないかと考えます。</p>
<p>2010年度を基本にしたデータを基に財政状況を話されましたが、2011. 3. 11以降の日本、愛知県の財政、県民生活や国の施策の大きな変化を基に報告すべきではないでしょうか。 2013. 4月以降の復興税や、消費税アップも頭に入れた報告をすべきではなかったのでしょうか。 伊藤先生の話からも、建設効果があれば、将来の負担は有効であるという結論を早急に出すべきではないと思います。</p>	<p>上記の回答でお答えに代えたいと思います。</p>
<p>森氏の内容は数値だけを追うもので意味がなかった。 負担はダム事業だけではなく、国保をはじめとして増加は明らかで、生活者に即した面も含め（景気、所得）なくては適切ではないでしょう。</p>	
<p>森氏講演について 設楽ダムが役に立つという前提があって初めて将来世代の負担が正当化されると考えます。ダムがむしろマイナス影響があるとすれば、将来世代に負担を求めるのは間違い。県財政への影響が少ないのは希釈効果のみ。</p>	<p>設楽ダムが役立つことを前提にして議論したつもりはありません。ダム建設が県財政の観点から実行可能かどうかを検討したつもりです。</p>
<p>愛知県財政の規模と設楽ダムという1事業の規模を比べて、大きな影響はないとの県財政面からの見方で正しいのか。コスト・ベネフィットのあるべき検討を行って事業の判断をしなければならないのではないかと。</p>	<p>ダム建設の是非を検討するのならコスト・ベネフィットは重要ですが、今回の検討は、ダム建設が県財政の観点から実行可能かどうかについて行っています。</p>
<p>森先生の財政インパクトの話は意味がない。財政的に踏み込んだ議論ができていない。</p>	

講座内容についてのご感想・ご意見【伊藤講師】	回答
スライド画等の資料をください。	
水使用の直前で利用権の変更ができるのか。	
<p>伊藤先生のお話はある程度理解していましたが、おさらいになりました。</p> <p>ただ、事前に資料がなかったのが残念でした。質問をするにも事前にある程度勉強しないと無理であるので、質問ができませんでした。</p>	
<p>設楽ダム費用対効果や、必要性の議論があるが、建設に向けて水没住民は既に過半数が移転しており、基本方針に従っていただきたい。</p>	
<p>多大な負担を強いられるダム建設。本当に行政もその必要性を考えるべきだと思います。</p> <p>山間部の過疎対策は、ダムに置き換えるのではなく、真に住む人の生活を考えるべき。病院、医者、福祉、学校、鳥獣害など、今直面している生活問題を解決することが大切。</p> <p>今の行政は、山間部に人が住めなくしている。大金をかけて20年先のことより、今の人たちがそこに定住しやすい施策を進めることが必要。下流のために上流の人が苦しむ必要はありません。</p> <p>伊藤達也先生、分かりやすい説明ありがとうございます。</p>	
<p>設楽ダム計画において、環境コストがしっかりと検証されていないという伊藤先生の話に若干心配となりました。</p>	
<p>伊藤氏の講演について、事実と違う（特に数字）部分があり、講演の信憑性が問われるのではないかと。</p>	
<p>伊藤氏の論は、ダム反対の立場からの話であったが、もう少し地域をどうするか、大きな目で見たい説明が必要と考える。</p> <p>他の流域と比較してコストが高いと言われるが、国の中の一地域として必要であれば、ダムは必要ではないかと考える。</p> <p>将来にわたって国土をいかに良くしていくかという視点が必要。</p>	
<p>大変参考になりました。（利益を受けている人にもっと理解をする必要があることが。）</p>	
<p>伊藤講師は、説明資料を配付すべきである。</p>	
<p>水資源は地域的に偏在しており、お金を払えば手に入るといえるものではないことを考えれば、「効率が悪い」「異常に高い」と言われる設楽ダムであっても、法手続きが済み、地域の合意も得られたこの時期において早く次の段階に移り、建設を進めるべきではないのか。</p>	
<p>効率が悪い設楽ダムは不要なのではと思いました。</p>	
<p>伊藤先生のお話、日本という国を丁寧に、しっかりとお話されて、その中の設楽ダムの置かれた点について、よく分かりました。</p> <p>私たちは、未来の子供たちに借金を残さない、無駄なものを造らないという姿勢が大切と思っています。その大切な税金を未来の子供たちの教育費に回して行って下さい。</p>	

講座内容についてのご感想・ご意見【伊藤講師】	回答
<p>利用権者が負担することを明確に示すことが、住民意識として大切であると思いました。</p> <p>設楽町付近のインフラ整備が、計画が始まってから遅れてきた。ダム切符が無ければ。</p> <p>すべてダム関連に位置付けられて減額されてきたので、早急にインフラ整備をしてあげなければ。早く仕上げたい。</p>	
<p>水源地对策費をコストに入れるのであれば、その便益も入れないとはいけません。そもそも水特事業はダム事業が来なくても行う事業で、水特による補助率の上積みも設楽ダムの場合ないと思います（単なる事業の前倒し）。その部分が抜けていたと思います。いたずらに何の効果も無いような説明をされていましたが、この説明では、「とにかくダム事業はお金ばかりかかって何の効果もないんだ」と誤解を招くと思いました。</p>	
<p>三河湾沿岸に住み、昔のきれいな三河湾を知っている者から見ると、設楽ダムは必要なく、効能よりも害の方が多いと思っています。</p> <p>しかし、県、国の説明等もあり、心の動くところが今まで多少なりともありましたが、今日の伊藤達也先生のお話を聞いて、絶対設楽ダムは造るべきではないと確信しました。もし、ビデオを分けてもらえるなら、いただいて、地元でみんなで見るといい会を開きます。</p>	
<p>設楽ダムの費用対効果について、詳しく理解できました。</p>	
<p>今日は「費用対効果」の意味合いと、設楽ダム建設計画におけるその実態がよく分かりました。</p> <p>推進者（県、国交省）は、正確に分かりやすく説明すべきでしょう。</p>	
<p>伊藤達也さんの発言には、明確な根拠が無い部分もあり、現制度（設楽ダムだけの問題だけではない）の課題もあり、その提案もない部分については、残念でした。</p> <p>批判だけなら楽ですね。</p>	
<p>伊藤氏講演について</p> <p>設楽ダムの問題点をより明確にしてください。アセスメントが海の影響を行っていないのは大きな問題。</p> <p>ダム建設の現実の建設費は、3.11以降明らかになってきた原発の隠されていた建設費と類似している。</p>	
<p>ダムのリサイクル率が1年とは驚きであった。</p>	
<p>伊藤先生の講義の時に、なぜ必要ないのか、なぜマイナスなのか、もっと詳しい資料が欲しかった。</p>	
<p>水道用水のコストが非常に高い（設楽ダム開発水について）という明確な指摘あったのは良かった。</p> <p>かんがい用水の受益者負担分についての議論がオープンにされたのは良かった。この点については、住民訴訟の争点の一つとなっています。</p>	
<p>伊藤先生のスタンスは、今後の愛知県の公共工事を行う上での大事な取り組み方法として取り入れていただきたい。</p> <p>設楽ダムのそもそもの目的について、愛知県民としては、まったく理解できるものではない。利権（水利）や地域の再開発で見直すべきことは沢山ありますね。</p>	
<p>費用負担と財政の問題の難しさについて議論がされたのは良かった。</p>	

運営についてのご意見等【両講師、その他】	回答
<p>森徹先生の講演では県の予算としては特段問題ないと思われる。又、伊藤先生の講演を聞くと色々問題も多い。</p> <p>しかし、水没者の70%の人が補償が終わっている現在、この事業を中止することは難しい。</p>	
<p>造るか造らないか、考えるきっかけになった。</p>	
<p>色々な分析が聴けて勉強になった。</p>	
<p>設楽ダム事業について、是非を今後も考えて行きたいと思いました。</p>	
<p>議論は面白いが、これからどうなるのか。</p>	
<p>奥三河の自然が壊れれば、動植物への大きな負の部分が発生する。金銭ではない大きな悲しみです。</p> <p>歩きながら、多くを教えられている地域です。これ以上壊さないで欲しい。</p> <p>今後も参加します。</p>	
<p>問題の本質が見えてきた感があります。</p> <p>ダム本体の問題と別に、地域振興、財政補助、利害関係が入り組んで混乱の中にある。専門的知識と調査権のある会計検査院の判断はどうか。資料はないか。</p> <p>これをいい方向へ行かせるのは、政治に期待するしかないのか。知事の英断を。（地元の振興とダム本体の見直しを両立できないか。）</p>	
<p>聞き漏らしたかもしれないが、維持管理費（メンテナンス）についての説明が無かったように思われる。</p> <p>地方債、国債まみれの借金の財政の中で、一旦決めた公共事業を止めて無駄を省くべきではないか。</p> <p>水需要は変わっている。下流の首長、議会が促進決議するのはダムマネーがあるからではないか。その分、社会保障の充実のために削減する。無駄を増大しているのでは逆財政運用である。</p> <p>（やらせにならず厳しい批判講師を次回に望む。）</p>	
<p>講座を聞けば、少しずつ理解が深まってきたが、反面、益々分からないことも増えてきて、ダム建設の難しさが分かってきた。慎重な検討、進行が大変重要と思われます。</p>	
<p>両講師の方のお話は分かりやすく良かった。</p>	
<p>今まで知らない部分（財政の部分）を知ったようで、ためになりました。</p>	
<p>ダム問題をいかに考えるべきか、どこに視点を置くべきか、識者の方と地元の方の声が聞けたことで理解を広げることができました。ありがとうございました。</p> <p>三河万歳が見られたのも良かったです。</p>	
<p>森先生の話は、設楽ダムの費用について無理矢理正当化しているようで、イラッとした。経済についてはまったくの素人の私ですが、こういった問題には数字だけでなく人情などのようなものが絡んでくるので、簡単に片付けられると納得できない。</p> <p>伊藤先生の話は、本日対するもので、最後にこれがあったので納得して家に帰れます。</p>	

運営についてのご意見等【両講師、その他】	回答
<p>① 初めて県の財政構造を聞いた。ダムの影響度も分かり易くて良かった。</p> <p>② 「ダム投資と事業効果」については、今後、具体的な数値（特に環境の価格化）について聞きたい。</p>	